

技術士業務研究会／平成28年11月度例会案内

☆協 力：日本技術士会近畿本部

☆開催日時：平成28年11月11日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル601号室

☆開会のご挨拶：業務研究会 部会長 技術士（機械） 中塚 勉 氏

☆講 演

1. (18:35 ～ 19:40)

【ご講演タイトル】：『独立技術士の道を探る』

青木技術士事務所 代表 技術士（金属部門） 青木 寛治 氏

【ご講演概要】

本年3月末にエア・ウォーター(株)を退職し、独立技術士としての活動を始めました。目指すところは、材料技術に係る知的生産です。この業務研究会の講演も含め、幾人かの技術士の活動例を学びながら、何ができるのかを検討しました。前職では、ガスアプリケーション技術としての金属表面処理を新規事業として確立することに従事しました。その概要を紹介し、この技術をさらに探求し、他分野にも展開する現在の試みについて言及します。さらに、今後20年間、技術士として現役で活動するための準備についても触れ、皆様のご意見を拝聴できればと考えています。

2. (19:45 ～ 20:50)

【ご講演タイトル】：『高速道路の大規模補修と更新について ～損傷原因は何か、どう補修・更新するか、阪神高速道路の事例から～』

福岡技術士事務所 所長 技術士（建設、総合技術監理） 福岡 悟 氏

【ご講演概要】

我が国の高速道路が供用され50年以上が経過した。高速道路は当初の予想を超えた交通量と車両の大型化により過酷な荷重を受け各所に損傷を生じるようになった。これまでは損傷箇所を発見次第できるだけ早期に補修する、又軽微なものは集中的に通行止め期間を設けて補修してきたが、各地の高速道路はもはやそれらの対応では不可能と考えられるようになり、いかに対処すべきか各道路会社は専門家を交えた委員会を設けて検討してきた。そして委員会の検討結果に基づき、これまでの補修や部分的更新とは異なった大規模報酬、大規模更新に踏み切ることとした。

これらのための工事は期間も長く、一般の利用者に変なご迷惑をかけるばかりか、社会経済生活にも多大な影響を及ぼし、また工事費も多額な費用を必要とする。

そこで、それについて、筆者が勤務していた阪神高速道路の例を中心にどこが、なぜ、どう損傷したか、どう補修・更新するかについて説明させて頂くこととします。

☆業務研究会連絡事項など

☆閉会挨拶：技術士業務研究会例会担当幹事 技術士（化学） 上田 修史

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇定 員：先着順にて30名
◇参加費：業務研究会会員は無料、業務研究会会員外は1,000円
◇申 込：2016年11月8日（火）までに下記へお願いします。
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。
業務研HP https://sites.google.com/site/gyoumuken/
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

青木 寛治 (あおき かんじ)

生年月：1953年 鹿児島県生まれ

学 歴：1977年九州大学工学部冶金学科卒業、

九州大学大学院工学研究科材料開発工学専攻修了

職 歴：大学院修了後、大同酸素(株) (現エア・ウォーター(株))入社

入社してから退職するまで一貫して開発部門に所属

2016年3月末退職、5月に技術士事務所設立

専門分野： 金属表面技術、金属熱処理、セラミックス

資 格：技術士(金属部門/表面技術)、高圧ガス甲種化学、公害防止管理者(大気1種)、
(エネルギー管理士(熱)(旧制度))

趣 味：ジョギング(ハーフマラソン)

福岡 悟 (ふくおか さとる)

生年月：1939(S14)年9月、出身地：岐阜県羽島市

学 歴：1963年(S38)年岐阜大学工学部土木工学科卒業

職歴他：1963(S38)年4月：阪神高速道路公団入社(現 阪神高速道路株式会社) 計画、工務、建設、
管理に従事

1994(H6)年6月：(財)阪神高速道路管理技術センター、高速道路管理に従事

※(阪神淡路大地震(1995.1.17)発生、遭遇)

1995(H7)年4月：(株)ハイウェイ技研(建設コンサルタント)設立(代表取締役)

2007(H19)：(社)日本技術士会 近畿支部長 2011(H23)(公社) 同本部長

2015(H27)：同上特別顧問 現在に至る

現 職：福岡技術士事務所 所長

専門分野：都市高速道路の計画、設計、建設、維持管理

資 格 一級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士

趣 味：園芸、切手収集

以上